

日本国民のサイバーセキュリティ知識向上を目指す、 「クイズで備えるサイバー防犯訓練」 開始から約3週間で全国約25,000人が体験！ 学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校にて特別授業も実施

消費者向けセキュリティブランド「ノートン™」は、2月1日(水)から3月18日(土)までの「サイバーセキュリティ月間」に合わせ、消費者のサイバー犯罪に対するセキュリティ知識向上を目的としたクイズコンテンツ「知ることからはじめよう！クイズで備えるサイバー防犯訓練」を、2月1日(水)より特設サイトにて公開し、開始から約3週間で全国約25,000人がクイズに参加しました。本クイズには多分野のインフルエンサーが参加した他、学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校 横浜キャンパスにて、本クイズを活用したサイバー犯罪対策に関する特別授業「ノートンのサイバー防犯訓練体験会」を実施し、395名の生徒が参加しました。本企画は、クイズ王伊沢拓司率いる東大発の知識集団「QuizKnock」プロデュースにより実施しております。

「クイズで備えるサイバー防犯訓練」特設サイト URL : https://japan.norton.com/cyber_bohan/

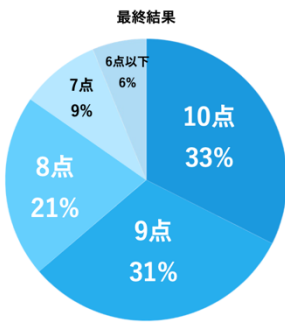


●クイズ結果サマリー

- 参加者全体の平均点が8.7点(10点中)と参加者の多くが高得点を獲得。
- サポート詐欺やウイルス「Emotet(エモテット)」に関するクイズの正答率が高い結果に。
- iPhoneのカレンダー機能を狙うサイバー攻撃に関するクイズの正答率が低い結果に。

● クイズ結果詳細

- 参加者全体の平均点が 8.7 点(10 点中)と参加者の多くが高得点を獲得。



■ 年齢別平均点

年齢	スコア
10代未満	7.11
10代	8.66
20代	8.70
30代	8.69
40代	8.67
50代	8.69
60代以上	8.68
答えたくない	8.73

クイズ参加者の約 32%が 10 点満点、約 31%が 9 点、約 21%が 8 点、参加者全体の平均点は 8.7 点と、高得点を獲得する参加者が多い結果となりました。年代別で比較しても大きな差はなく、10 代未満のみ平均点 7.11 点と、他の世代と比較し低い結果となりました。

■ 都道府県別平均点(上位)

順位	都道府県	平均スコア
1位	和歌山県	8.910
2位	山梨県	8.908
3位	広島県	8.790
4位	神奈川県	8.782
5位	岡山県	8.774
6位	島根県	8.774
7位	東京都	8.764
8位	長崎県	8.764
9位	千葉県	8.755
10位	沖縄県	8.753

■ 都道府県別平均点(下位)

順位	都道府県	平均スコア
39位	滋賀県	8.488
40位	群馬県	8.424
41位	秋田県	8.414
42位	石川県	8.355
43位	青森県	8.354
44位	高知県	8.333
45位	福島県	8.257
46位	山形県	8.226
47位	福井県	8.131

地域別で比較した際に、平均点が最も高かったのは和歌山県となり、2 位は山梨県、3 位は広島県でした。一方、最下位の 47 位は福井県、続いて 46 位は山形県、45 位は福島県という結果となりました。45 位の福島県については、2022 年に福島県内で警察に寄せられたサイバー犯罪の相談件数は、統計開始以降過去最多^{*1} との県警による発表がありました。サイバー犯罪は、インターネットを利用する全ての消費者が被害に遭う可能性があるため、自身の情報を守るためにも消費者が、どのようなサイバー犯罪があり、どのように対策をすれば良いのか知識を深めることが大切です。

*1 2022/4 福島県警「サイバー犯罪の検挙状況、相談受理状況について」

<https://www.police.pref.fukushima.jp/onegai/jyohou/hightech2/r3-kenkyojyokyo.pdf>

- サポート詐欺やウイルス「Emotet(エモテット)」に関するクイズの正答率が高い結果に。

全国平均点の高い傾向にあったクイズは以下の通りです。1 位は 97.4%、2 位は 97.2%、3 位は 97.1% の正答率となりました。

全国平均点が高い問題

第 1 位

97.4 %

WEBサイトを見ていたら、こんな警告が！ 実在する企業ロゴも載っているし、一刻も早く記録された電話番号に連絡して解決の方がいい？



A

B **正解**

第 2 位

97.2 %

ある日、人気俳優から突然のダイレクトメッセージ！ 本当に本人なのか……でも、せっかくのチャンスを無駄にしない！ あなたが取るべき行動は？



A 「本人であるか？」と質問する

B 本人である証拠となる動画データを送らせる

C 相手にせす無視する **正解**

第 3 位

97.1 %

メールなどを通じて感染を広げるコンピュータウイルス「Emotet」。「Emotet」に感染しないために気を付けるべきことは、次のうちどれ？



A メールへのリンクは不用意にクリックしない！ **正解**

B 普段使うメールアドレスは一つに絞る！

C スマホではなくパソコンからメールを開く！

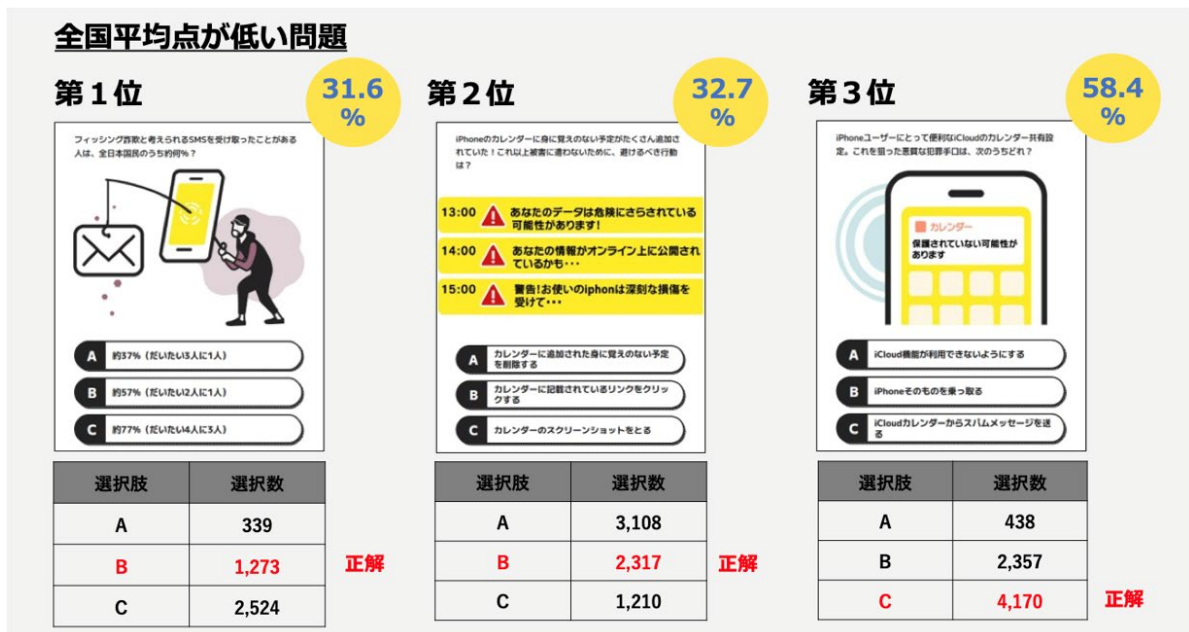
正答率が 1 番高かった問題は、偽のセキュリティ警告のポップアップを表示し、詐欺のサポート番号に電話をするよう誘導する「サポート詐欺」に関する問題でしたが、多くの消費者がポップアップの電話番号には電話をしないほうがいいと認識していることが伺えました。不審な警告表示に遭遇した際には、

電話をせず、ブラウザを終了することをお勧めいたします。2 番目に正答率が高かった問題は、人気俳優をかたる人物から突然ダイレクトメッセージが来た際にどのように対応するかという問題でしたが、多くの方が「無視をする」を選択しました。サイバー犯罪者が SNS アカウントを乗っ取り、ダイレクトメッセージにて詐欺サイトを拡散するケースがあるため、覚えのない連絡があった際には、不用意に対応せず、リンクなどを開かないことが大切です。

また、3 番目に正答率が高かった「メールなどを通じて感染を広げるコンピュータウイルス Emotet に感染しないために気を付けるべきことは？」という問題では、多く参加者が「メールのリンクは不用意にクリックしない」と回答しており、対応策が認知されていることが伺えました。ウイルスは、メールの添付ファイルから感染する他、メールに記載されたダウンロードリンクからファイルをダウンロードすることで感染することがあります。例えば知人をかたる人物からの連絡であっても、覚えのないファイルの送付には注意が必要です。

● iPhone のカレンダー機能を狙うサイバー攻撃に関するクイズの正答率が低い結果に。

正答率が最も低かった問題は以下の通りです。1 位は 31.6%、2 位は 32.7%、3 位は 58.4%の正答率となりました。



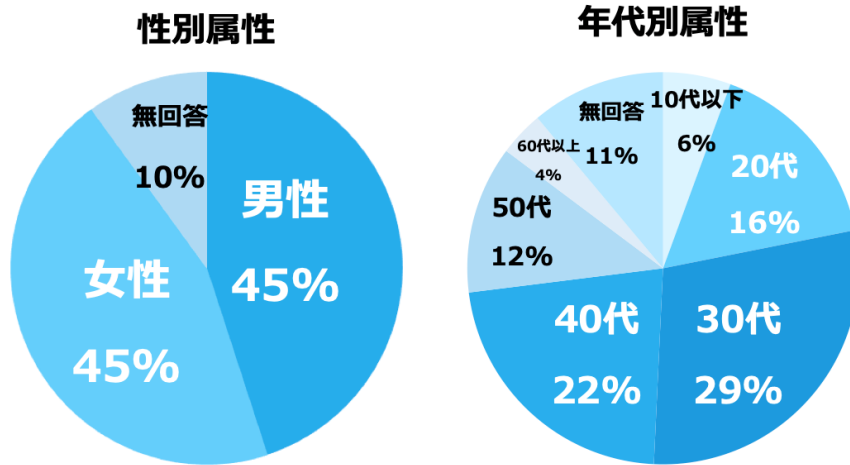
1 番正答率が低かった問題は、「フィッシング詐欺と考えられる SMS を受け取ったことがある人は全日本国民のうち約何%？」という問題でしたが、正解は「約 57% (約 2 人に 1 人)」でした。こちらはフィッシング対策協議会発表の「SMS を用いたフィッシング詐欺についての意識調査^{*2}」の調査結果に基づいた問題でしたが、多くの参加者が「全日本国民のうち約 77%(約 4 人に 3 人)がフィッシング詐欺と考えられる SMS を受け取ったことがあるのではないかと回答しており、消費者の多くが詐欺の SMS に遭遇していると実感していることが伺えます。

正答率が 2 番目と 3 番目に低かった問題は、iPhone のカレンダー機能に、スパムメッセージを含む予定を次々と追加するサイバー犯罪に関する問題でした。このサイバー犯罪は、ウェブサイト上のポップアップ広告をクリックした際などに、iPhone のカレンダーへアクセスを許可してしまい、悪意のあるカレンダーアカウントが追加されることによって発生します。悪意のあるカレンダーアカウントが追加されると、不審なウェブサイトやアプリのインストールへ誘導するメッセージを含む予定がカレンダーに追加されるようになります。悪意のあるカレンダーアカウントを削除することで、被害を食い止めることができます。被害に遭った際は、焦ってしまいがちですが、対応策^{*3} が公開されているため冷静に手順を踏んでカレンダーへのアクセスをブロックすることが重要です。

*2 フィッシング対策協議会発表「フィッシングレポート 2022」 https://www.antiphishing.jp/report/phishing_report_2022.pdf

● クイズ参加者：性別・年代比率

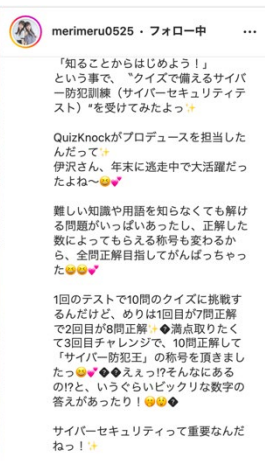
本クイズは公開開始約 3 週間で全国約 25,000 人が体験しました。性別比率は男女ほぼ同率でした。年代に関しては、30 代が 1 番多く約 29%、2 番目に多い 40 代が約 22%、次いで 20 代が約 16% という結果になりました。



*アンケート回答に基づく情報です。

● インフルエンサーもサイバー防犯訓練を体験

本企画では複数名のインフルエンサーもサイバー防犯訓練に参加しており、姉妹で人気のインフルエンサー「めり♡める」の姉でモデルや MC・女優に挑戦するなど活躍の幅を広げている現役女子高生のめり(Instagram: @merimeru0525)や、サラリーマンが知っておきたいパソコン知識を発信する現役 IT エンジニアみっちー(Twitter: @mittij_biz)も参加し、様々な分野・世代のインフルエンサーがサイバーセキュリティの知識を身につける重要性を発信しました。



● 特別授業「ノートンのサイバー防犯訓練体験会」を学校にて実施

ノートンは 2 月 7 日(火)、学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校 横浜キャンパスにて、本企画のクイズを活用したサイバー犯罪対策に関する特別授業「ノートンのサイバー防犯訓練体験会」



を実施いたしました。当日は全国のキャンパスへ同時にリモート配信をし、合計 395 名の生徒がクイズに参加しました。

生徒からは、「普段からいろんなフリー素材サイトを利用しているのですが、運営元を確認せずに個人情報を入力したりファイルをダウンロードしたりしてしまうことがあるので、気をつけようと思います。」「ウイルスに気をつけることはもちろん、物理的に情報を盗み見られたり、日常にある Wi-Fi や怪しい URL などにも気をつけて、被害に遭わないように生活していきたい。」などのコメントがあり、若い世代にセキュリティ対策の重要性を知ってもらえるきっかけとなりました。



● 「クイズで備えるサイバー防犯訓練」 概要

ノートンは、消費者の皆様へ安全で快適なデジタルライフ（インターネットを利用した生活）を提供することを目標に掲げています。「クイズで備えるサイバー防犯訓練」は、安全なデジタルライフを皆様へ送れるよう、サイバー犯罪に対するセキュリティ意識の向上を目的としたクイズ企画です。

クイズ王伊沢拓司率いる東大発の知識集団、QuizKnock がプロデュースしており、サイバー犯罪やインターネットリテラシーに関する正しい知識を楽しく学べるクイズコンテンツとなっております。知識を問われる問題だけでなく、思考によって解くことができる問題も多く出題されるため、老若男女問わず、楽しみながらインターネットセキュリティについて学ぶことができることも特徴です。クイズは全部で約 50 問の中からランダムに 10 問が出題され、正答数によって異なる称号が授与されます。サイトよりどなたでも無料で参加可能です。



● QuizKnock とのコラボ動画も公開！

サイバー防犯訓練をプロデュースした東大発の知識集団“QuizKnock”とノートンがコラボをした動画も YouTube チャンネル『QuizKnock 会議中【サブチャンネル】』にて公開中です。QuizKnock のメンバーが実際に防犯訓練に登場するクイズに挑戦しています。

<https://youtube.com/watch?v=6Fy0NUod2EA&feature=shares>

●プレゼントキャンペーン開催

● Amazon ギフト券 5,000 円分が 400 名に当たる Twitter キャンペーンも開催中

Twitter にて 3 月 31 日(金)までの期間、プレゼントキャンペーンを実施しております。ノートン公式 Twitter アカウント (@NortonJapan) をフォローの上、サイバー防犯訓練に参加し、その結果をシェア(ツイート)いただいた方の中から抽選で 400 名様に、Amazon ギフト券 5,000 円分をプレゼントいたします。

※本キャンペーン終了後もサイバー防犯訓練は体験可能です。



応募方法：

- 1) ノートン公式アカウント(@NortonJapan)をフォロー <https://twitter.com/NortonJapan>
- 2) サイトからサイバー防犯訓練のクイズに参加 https://japan.norton.com/cyber_bohan/
- 3) 「#ノートン #ノートンサイバー防犯訓練 #QuizKnock」のハッシュタグをつけて結果をツイート

*Amazon ギフトカード細則に関してはこちらをご参照ください。 <https://amzn.to/40b84Bj>

●ノートンについて

ノートンは、サイバーセーフティのブランドである、Norton、Avast、LifeLock、Avira、AVG、ReputationDefender、CCleaner を通じて、デジタル化が進んだ世界においてもサイバー犯罪などの危険を心配せず、自由にデジタルを使いこなせる環境、「デジタルフリーダム」の実現に力を注ぐグローバル企業「ジェン デジタル社 (NASDAQ : GEN)」の主要サイバーセーフティブランドです。人々が安全に、プライバシーが保たれ、自信を持ってデジタルライフを送ることができるよう、これからの時代もサポートしてまいります。ジェン デジタルは、サイバーセキュリティ(インターネット利用の保護)、プライバシー保護、個人情報対策の分野で受賞歴のある製品とサービスを、150 カ国以上の 5 億人以上のユーザーに提供しています。詳しくは、Norton.com と GenDigital.com をご覧ください。